

## 選挙で頼りになるメディアは新聞やテレビ

2016年夏の参議院議員選挙を控え、今回の調査では政治・選挙への関心を尋ねました。全体の62.6%が関心を持っていると回答しました。政治・選挙に関心を持っている人は、日ごろ紙の新聞で、社会・事件・事故や政治、地元・地域の出来事に関する記事をよく読んでいます。

選挙で投票する際参考にした情報源は、新聞記事を挙げた人が最多でした。政治・選挙に関心を持っていると答えた人に限ると、新聞記事を参考にしようと思っている人は64.3%に上ります。

今回選挙権年齢が18歳以上に引き下げられますが、15～19歳の回答を見ると、政治・選挙に関心を持っている人は34.1%でした。投票の参考にしたいメディアは上位から、テレビ番組(政見放送)、新聞記事、テレビ番組(政見放送以外)の順となっています。

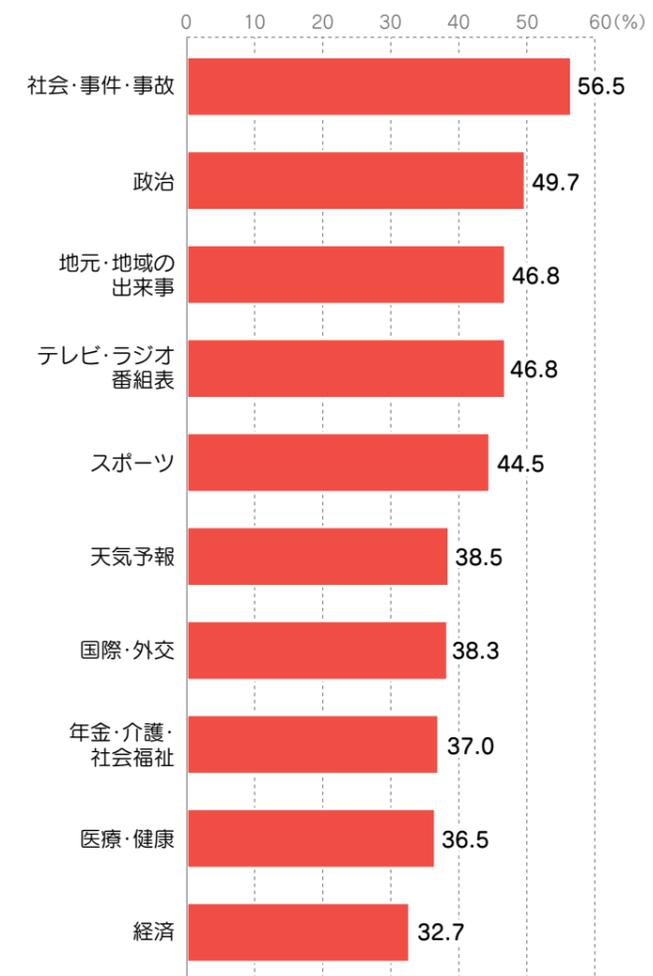
選挙のような公共性、社会性の高い情報を得る際、新聞やテレビが頼りにされていることがうかがえます。

表2 政治・選挙への関心の有無 (%)

	関心あり(計)	関心なし(計)
全体 (n=3,845)	62.6	35.4
性別	男性 (n=1,790)	28.8
	女性 (n=2,055)	41.1
年代別	15-19歳 (n=205)	63.4
	20代 (n=358)	57.3
	30代 (n=358)	46.2
	40代 (n=737)	40.6
	50代 (n=571)	31.2
	60代 (n=838)	21.8
	70代 (n=550)	17.3

※関心あり(計)のスコアは「関心がある」と「まあ関心がある」、関心なし(計)は「関心がない」と「あまり関心がない」の合計

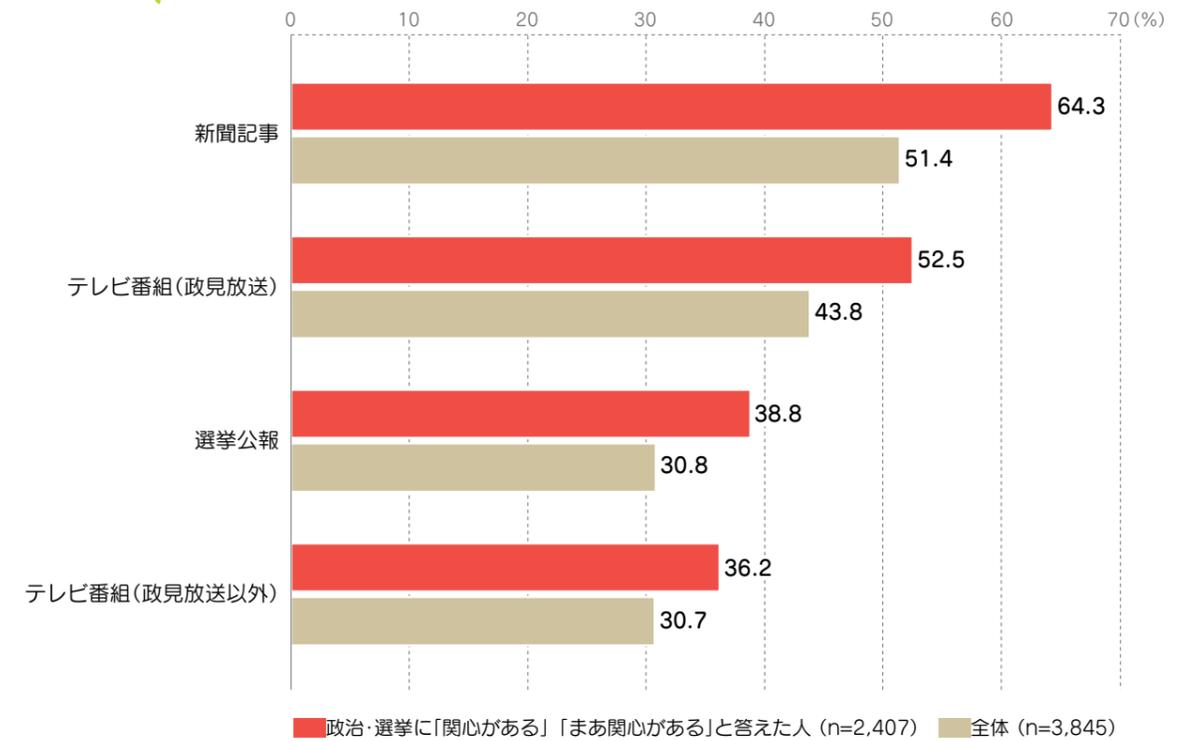
図9 政治・選挙に関心がある人が紙の新聞で日ごろ読んでいる情報 (複数回答)



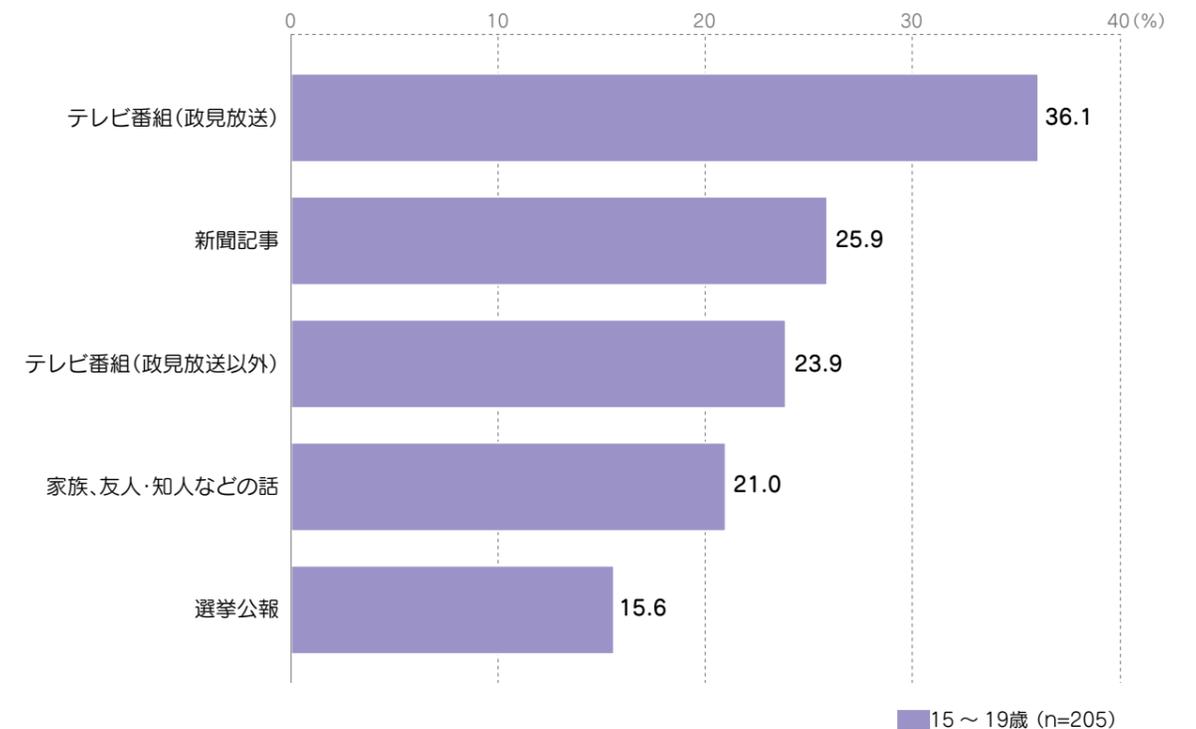
政治・選挙に「関心がある」「まあ関心がある」と答えた人 (n=2,407)

図10 投票の参考にしたい情報源 (複数回答)

政治・選挙に関心を持っている人



15～19歳



15～19歳 (n=205)